



全国特別支援学校**肢体不自由**教育校長会

# 全肢長通信



会長 伴 光明  
(都立あきる野学園)

令和5年度 第1号  
(不定期発行)

令和5年5月5日

## 令和5年度始まる。5類引き下げ。足掛け5年の時を経て。

全国の肢体不自由教育特別支援学校の校長先生方、こんにちは。今年度から新たに当会の会員となられた皆様、御着任おめでとうございます。当会は、**肢体不自由のある児童・生徒を教育する特別支援学校長の全国組織**であり、その歴史は65年を数えます。全肢長通信の発行時期は不定期ですが、その時々の特ピックを取り上げてまいります。少しでも校長先生方の学校経営の御支援になれば幸いです。

私は昨年度に会長職をお受けし、今年で2年目となります。この4月の異動で前任校の多摩桜の丘学園と同じく肢・知併置校である**あきる野学園**の校長となりました。

今月初めに教職員に示したスライドの一部を紹介します。5日にはWHOも「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了すると発表した、と報じられました。肢体不自由校では病院併設であったり、特に配慮を必要とする児童生徒が在学したりする例が多いことから、今後の**感染症対策に悩む校長先生が多い**ことでしょう。ウイルスの存在を前提として、人間の

自由な社会活動としての学びを進めていかねばなりません。**マスクの下に隠れていた「表情」の意味を理解したり共有したり**ということも意識的に取り入れたいものです。**6月には総会**があります。今欲しい情報を交換しあいましょう。そして各地の研究会や**11月の全肢研島根大会**などで苦労や工夫の跡を共有し、全体で前進していきましょう。どうぞよろしくお祈りします。

**Akiruno Gakuen**

はじめよう  
**新しい「新しい学校の日常」**

5類感染症への移行後の学校における新型コロナウイルス対策について

令和5年5月1日

東京都立あきる野学園校長  
伴 光明



もちろん、ウイルスが死滅したわけではないので、場面に応じたマスク着用や、適切な換気、消毒などの衛生管理は大切です。  
**マスクをしたほうが安心できる、という人もいて当然。マスクをつけられない、という人もいるのが世の中。**  
お互いに尊重し合う気持ちでいきましょう。



医療の現場や調理の現場など、さまざまな感染を避ける必要があることからマスクや手袋等が必要な場合もあります。



学校の中でも、**マスク等を必要とする場面がある**ことは自覚していく必要があります。

発行：全国特別支援学校肢体不自由教育校長会  
事務局長：泉 慎一  
(東京都立八王子東特別支援学校長)  
Shinichi\_Izumi@member.metro.tokyo.jp

TEL:042-646-8120 FAX:042-642-2197  
〒192-0032 東京都八王子市石川町3246-1